

## A会場（第1日 9月3日）

	時間	講演番号	発表者	演 題
1	9:00-9:15	奨励1	菅原由貴	重油とその構成物質暴露による硬骨魚類の初期発生と行動への影響
2	9:15-9:30	奨励2	仲亀雄哉	魚類受精杯に対する銀イオンの毒性評価
3	9:30-9:45	奨励3	江口さやか	メダカのin vitro排卵アッセイを利用したジクロフェナクの排卵阻害活性評価
4	9:45-10:00	奨励4	阿部諒介	プラナリア再生能を指標としたバイオアッセイ
5	10:00-10:15	奨励5	橋爪直樹	食物連鎖を想定した生物蓄積性評価手法 - 経口濃縮度実験 -
6	10:15-10:30	奨励6	荒巻愛世	液体合成培地を用いた線虫 <i>C. elegans</i> の <i>in vivo</i> 評価系によるCuの影響評価
7	10:30-10:45	奨励7	坪井良恵	生態毒性試験におけるBMD法の適用 - 藻類生長阻害試験におけるNOECとBMDLの比較
8	10:45-11:00	奨励8	林健太	PAMAM dendrimerの毒性評価
9	11:00-11:15	奨励9	内田雅也	海産甲殻類・アミを用いた抗菌剤類の生態影響評価
10	11:15-11:30	奨励10	Fatma Khalil	Sublethal effect of chlorpyrifos on social behavior and brain acetylcholinesterase activity of Japanese medaka ( <i>Oryzias latipes</i> )
11	11:30-11:45	奨励11	渡部 春奈	内分泌かく乱物質の間欠曝露によるオオミジンコの繁殖影響
12	11:45-12:00	奨励12	山田りな	核内受容体発現酵母を用いた河川水試料の内分泌攪乱性評価
	12:00-13:00			
13	13:15-13:30	奨励13	原宏江	下水処理水中の残留医薬品の毒性評価
14	13:30-13:45	奨励14	伊藤真奈	海洋防汚物質ピリジントリフェニルボラン及び分解生成物の海産魚に対する毒性
15	13:45-14:00	奨励15	本田匡人	反復低酸素暴露がタイラギの呼吸代謝と行動に及ぼす影響
16	14:00-14:15	奨励16	鈴木康之	DBDEのニジマス肝S9試験
17	14:15-14:30	奨励17	小畑雄大	動物プランクトンと魚の食う-食われる関係に及ぼす殺虫剤影響
	14:40-15:10	特別講演	青野辰雄	放射性物質による環境生物に及ぼす影響 - 海洋環境について -
19	15:20-15:40	シンポ1	林岳彦	ベイズの使いどころ: 環境毒性学への応用
20	15:40-16:00	シンポ2	庄野宏	環境科学のためのBayes統計学入門
21	16:00-16:20	シンポ3	半藤逸樹	ベイズ不確実性解析で環境リスクを解く?: 環境動態予測と複合ストレス実験の事例研究
22	16:20-16:40	シンポ4	柴田淳也	生物を介した化学物質の動態解析ツールとしてのベイズ統計
23	16:40-17:00	A1	楠井隆史	プラスチック関連物質の海産生物への影響評価
24	17:00-17:20	A2	駕田啓一郎	PPCPsの水生生物への毒性に対する直鎖アルキルベンゼンスルホン酸の影響
25	17:20-17:40	A3	安田侑右	<i>Ceriodaphnia dubia</i> を用いた都市河川水に対する短期慢性毒性試験と窒素・リン等栄養塩の及ぼす影響評価

### A会場(第2日 9月4日)

	時間	講演番号	発表者	演題
1	9:00-9:20	A 4	Luvantsend	ピリチオン防汚剤がウキクサ葉状体に及ぼす影響
2	9:20-9:40	A 5	杉田 創	発光細菌を用いたバイオアッセイによる土壌汚染簡易評価手法の開発 -土壌溶出成分の影響-
3	9:40-10:00	A 6	畠山成久	食物連鎖を通じた生態影響の評価
5	10:20-10:40	A 7	伊藤一輝	ナノインジェクション法を用いた魚卵に対する化学物質影響評価法の検討
6	10:40-11:00	A 8	仲山 慶	多環芳香族炭化水素の単独・複合暴露に対する生体応答の解析
7	11:00-11:20	A 9	宇野誠一	PAH類に暴露したヒメダカ稚魚のメタボロームとトランスクリプトームの変動の比較
8	10:00-10:20	A10	鈴木 剛	レポーター遺伝子アッセイ/化学分析による毒性同定評価アプローチ:高次野生生物への適用と評価
9	11:20-11:40	A11	岸田智穂	実用的な海産魚類毒性試験法の検討
10	11:40-12:00	A12	河野久美子	飼育水温の違いが魚類による餌料中有害化学物質の蓄積に及ぼす影響
11	12:00-12:20	A13	菅谷芳雄	ISO およびJIS 規格における生態影響関連試験:試験法の特徴と承認・見直し・削除

### B会場(第2日 9月4日)

	時間	講演番号	発表者	演 題
1	9:00-9:20	B 8	門田克行	排水生物影響の原因解明および削減対策法
2	9:20-9:40	B 9	西田高志	排水水質管理における生物影響評価の方法について
3	9:40-10:00	B10	鏡良弘	事業所排水のWET試験およびニセネコゼミジノコ( <i>Ceriodaphnia dubia</i> )DNAマイクロアレイ解析による生体毒性評価
5	10:20-10:40	B11	勝又政和	排水の生態影響評価における藻類の遅延発光の利用可能性の検討
6	10:40-11:00	B12	門田克行	ヒメダカDNAマイクロアレイによる性ホルモン作用の危険の予測法
7	11:00-11:20	B13	原島小夜子	内分泌攪乱物質を検出する新しいバイオアッセイ用レポーター酵母の開発
8	10:00-10:20	B14	田中嘉成	性比攪乱作用を利用した内分泌攪乱化学物質の生態リスク評価法の検討
9	11:20-11:40	B15	NURULNADIA	Biomagnification of endocrine disrupting chemicals (EDCs) in polychaete ( <i>Perinereis nuntia</i> )
10	11:40-12:00	B16	小山次朗	海底質中内分泌攪乱化学物質のエストロゲン活性評価
11	12:00-12:20			
日本環境毒性学会総会				

## B会場（第1日 9月3日）

	時間	講演番号	発表者	演 題
	12:00-13:00			バイオアッセイ研究会総会

19	15:20-15:40	B1	伊藤雅也	鳥類の繁殖に及ぼす影響に関する6週間短期試験法の有用性確認に関する研究
20	15:40-16:00	B2	高橋淳子	ミニブタを用いた低侵襲な化学物質影響評価手法の検討 マイクロアレイ解析によるアジ化ナトリウムの影響評価
21	16:00-16:20	B3	岩橋 均	クラウン系ミニブタ飼育環境のゲノミクスを利用した評価
22	16:20-16:40	B4	大津和久	カエル幼生を用いた農薬影響評価の試み - 培養プレートを用いた個別分離暴露試験法の検討 -
23	16:40-17:00	B5	穂塚俊満	光照射による活性酸素種の発生はニトロアレーンの毒性を強める
24	17:00-17:20	B6	田中博之	海産生物へのニトロアレーンの影響評価
25	17:20-17:40	B7	Eugene	Accumulation, micronuclei and other nuclear abnormalities formation in marbled flounder, <i>Pleuronectes yokohamae</i> exposed to dietary nitrated polyaromatic hydrocarbons (NPAHs)